

# 全日本中学生バドミントン選手権大会 組合せ要領

平成19年8月21日  
日本中学校体育連盟バドミントン競技部会にて合意

平成25年12月20日一部改定

1. 第1～4シードは前年度大会の実績より決定する。第3シードは、優勝チームに負けた3位チームをあてる。
2. 第5～8シードは前年度大会の実績により、該当（都道府県）チームの抽選により、第5～8シードを決定する。
3. 第9～16シードは前年度大会の実績により、該当（都道府県）チームの抽選により、第9～16シードを決定する。
4. 北北海道、南北海道 の両チームが第1～第16シードに入った場合には、同一ゾーンに入ることはない。同一ゾーンのシードに入るような場合は、シードの位置を入れ替える。
5. 前年度大会で開催地の2チームが第1～第16シードを獲得し、次年度に出場数が1となり、シードが空く場合には、下記のような配慮を行う。
  - (1) 第1～4シードの空きの場合には、第5シードを繰り上げ、第4シードとする。その場合の第5シードとは、前年度大会の第5～8位のチームからの抽選とする。
  - (2) 第5～8シードが空く場合には、第9シードを繰り上げ、第8シードとする。その場合の第8シードとは、前年度大会の第9～第16位のチームからの抽選とする。なお、上記(1)が行われたことによって(2)が生じた場合もこれに該当する。
  - (3) 第9～16シードが空く場合には、シードに該当しないチームのフリー抽選により決定する。なお、上記(2)が行われたことによって(3)が生じた場合もこれに該当する。
6. 前年度大会にて第1～第16シードを獲得し、次年度大会に不参加の場合も、上記5.(1)、(2)、(3)と同様の配慮を行う。
7. 予選リーグで対戦するチーム（3または4チーム）は前年度大会の対戦チームと異なるように配慮する。
8. 予選リーグで対戦するチームは同一ブロック内のチームは避けるように可能な限り配慮する。ブロックとは全国47都道府県を9ブロックに分けたブロックとする。
9. 予選リーグを組む際には、9ブロックがバラツクように配慮し、シード以外はすべて抽選により決定する。